

「奈良時代と現代はここでつながっています！」

本単元で育成する資質・能力

情報活用能力・思考力・判断力・人間関係形成能力

- 1 日 時 平成29年9月13日（水） 6時間目
- 2 学年・学級 1年B組（男子14人 女子18人 計32人）
- 3 単元名 歴史的分野 第2章 古代までの日本
3節 古代国家の歩みと東アジア世界（東京書籍）
- 4 本単元を指導するにあたって

本単元は、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇・貴族の政治が展開されたことを、聖徳太子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至る過程、摂関政治を通して理解させる単元である。また、国際的な要素をもった文化が栄え、後に文化の国風化が進んだことを、具体的な事例を通してとらえさせたい。

中学校学習指導要領解説社会編の歴史的分野の2内容（2）古代までの日本の内容の取扱いには、「律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを通して、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族の政治が展開したことを理解させる。」と記されている。

グローバル化により変化の激しい今日の社会は、多様な社会的事象に主体的に対応する必要がある。生徒には、これからよりよい社会を築き上げていくために、多様な社会的事象に関心をもたせ、それらに対して考察し、表現する態度を身に付けさせたい。

また、生徒にとって身近な話題から社会的事象を取り上げ、考察し、判断し、表現する活動を通して、古代までの日本に対する見方や考え方の基礎を養いたい。

【生徒の主体的な学びを促すポイント】

社会科の学習での主体的な学びとは、①自ら調べ、考察したことを表現すること。②多様な意見の交流を通して、妥協点を見つけながらよりよい意見を導き出すこと。の2点に集約されると考える。そのため、①に関して、教科書や資料集を使い、課題に関して自ら調べる時間を設ける。そして、課題に対する解決策を考え、表現する。②に関して、個人の考えをグループなどで協議し、新たな考えを導き出すことで、主体的な学びにつながると考える。

【基礎・基本の定着】

(1) 習得すべき基礎・基本について

- 飛鳥時代、奈良時代、平安時代の重要語句の理解
- 飛鳥時代、奈良時代、平安時代それぞれの政治や人々の生活の特色についての理解
- 飛鳥時代、奈良時代、平安時代それぞれの仏教の特色や東アジアとのつながりへの理解
- 飛鳥文化、奈良文化、国風文化それぞれの特色についての理解

(2) 定着への手立て

- 帯学習での一問一答（重要語句の確認）
- 宿題プリント（家庭での復習）
- 小テスト（単元の最後で実施）

5 単元の目標

- 聖徳太子の政治について、理解する。飛鳥文化の特色を仏教の伝来と関連付けてとらえる。
- 大化の改新から律令国家の確立にいたるまでの過程を理解する。7世紀の東アジアの動きを、国内の情勢と関連付けてとらえる。
- 律令の制定、都の造営、地方への支配の広がりなどを通して、古代国家の特色についてとらえる。律令制度の内容を通して、古代国家の仕組みを理解する。
- 奈良時代の人々の生活の実態について、班田収授法を通して、古代国家の仕組みを理解する。律令制度の基盤である公地・公民の制がくずれ始めた理由を考える。
- 代表的な文化財を通して、天平文化の特色を理解する。遣唐使の派遣が果たした役割について考える。
- 平安遷都の理由・意義や、平安時代初めの政治の特色について理解する。平安時代の新しい仏教の特色について理解する。
- 藤原氏が行った摂関政治の特色について理解する。代表的な事例をとおして、国風化した文化の特色を理解する。

6 単元の評価規準

ア 社会的事象への 関心・意欲・態度	イ 社会的な 思考・判断・表現	ウ 資料活用の技能	エ 社会的事象についての 知識・理解
①天皇・貴族の政治が展開され、国際的な要素をもった文化が後に国風化したことに関心を持ち、意欲的に学習している。	①聖徳太子の政治から大化の改新をへて確立した律令国家が、どのような政治をねらっていたのか、その特色について考察している。 ②仏教の影響や文化を担った人々などに着目して、古代の日本において栄えた文化の特色について考察している。	①天皇・貴族の政治の展開についてのさまざまな資料を活用して、その当時の人々の様子やあらましをとらえている。	①聖徳太子の政治、大化の改新から律令国家の確立にいたるまでの過程など、国家の仕組みが整えられ、その後、天皇・貴族の政治が展開されたことを理解している。 ②大陸の文化を積極的に取り入れた文化が都を中心に栄え、その中から日本的な文化が成立したことを、具体的な事例を通して理解している。

7 本単元を通して伸ばしたい資質・能力

※塩町中学校区では、小中9年間で身に付けさせたい9つの能力を定めている。

塩町中学校区9能力					
① 情報活用能力 (調べてまとめる力)	○	④判断力 (自分で決める力)	○	⑦体力・継続力 (ねばり強くやりきる力)	
② 発見力 (見つける力)		⑤表現力 (伝える力)		⑧人間関係形成能力 (人とかかわる力)	○
③ 思考力 (考える力)	◎	⑥将来設計能力 (なりたい自分を描く力)		⑨生活力 (学んだ事を生かす力)	

③ 思考力・・・既習の知識や新しく得た情報を比較したり、結び付けたりして新たな考えを生み出すことができる。

① 情報活用能力・・・教科書や資料から必要な情報を取捨選択し、思考の根拠とすることができる。

④ 判断力・・・思考を通して導き出した新たな考えを、既存の枠組みと照らし合わせ、あるべき姿を判断することができる。

⑧ 人間関係形成能力・・・課題を解決するために、班のメンバーと協力して新たな事柄を考察したりすることができる。

8 指導と評価の計画：(全7時間)

次	学習内容 (時数)	評 価				
		関	思	技	知	評価規準 (評価方法)
1	帯 重要語句の確認 (ペアワーク) ○宿題プリントの答え合わせ (前時の復習) ○聖徳太子の政治改革 ・聖徳太子の政治の目的を考察し、その結果を表現している。 ・飛鳥文化に関心を持ち、意欲的に学習している。 (1)	○	○			イ① (ワークシート) ア① (行動の観察)
2	帯 重要語句の確認 (ペアワーク) ○宿題プリントの答え合わせ (前時の復習) ○大化の改新 ・大化の改新から律令国家の確立にいたるまでの経過を的確にまとめている。 ・大化の改新とその後の政治の展開について理解している。 (1)			○	○	ウ① (ワークシート) エ① (ワークシート)
3	帯 重要語句の確認 (ペアワーク) ○宿題プリントの答え合わせ (前時の復習) ○律令国家の成立と平城京 ・地域の国名について意欲的に調べ、関心をもっている。 ・平城京について調べ、天皇・貴族の力の大きさや中国の影響について考察している。 (1)	○	○			ア① (行動の観察) イ① (ワークシート)

4	<p>帯 重要語句の確認（ペアワーク）</p> <p>○宿題プリントの答え合わせ（前時の復習）</p> <p>○奈良時代の人々の暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料から貴族と農民の食事や住居を比較し、奈良時代の人々の生活の様子を読み取ることができる。 ・墾田永年私財法などにより、公地・公民の原則がくずれていった経過を考察している。 <p>(1)</p>		◎	○		<p>ウ① (行動の観察)</p> <p>イ① (ワークシート)</p>						
5	<p>帯 重要語句の確認（ペアワーク）</p> <p>○宿題プリントの答え合わせ（前時の復習）</p> <p>○天平文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良時代の寺院や仏像に関心をもち、意欲的に学習している。 ・天平文化が、仏教や大陸との交流の影響によって生まれたことを理解している。 <p>(1)</p>	○			○	<p>ア① (行動の観察)</p> <p>エ② (ワークシート)</p>						
6	<p>帯 重要語句の確認（ペアワーク）</p> <p>○宿題プリントの答え合わせ（前時の復習）</p> <p>○パフォーマンス課題を知る。</p> <div data-bbox="225 996 1422 1249" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>奈良時代と現代はここでつながっています！</p> <p>今まで奈良時代の都や人々の暮らし、文化について学んできました。奈良時代について学んできたことを、複数の資料を使ってそれらをつなぎ、レポートにまとめよう。その際に、奈良時代のもので現代の私たちの生活に大きな影響をあたえているものを1つとりあげ、理由を考えよう。</p> </div> <p>評価指標（ルーブリック）</p> <table border="1" data-bbox="252 1301 1398 1547"> <tr> <td data-bbox="252 1301 312 1402">A</td> <td data-bbox="312 1301 1398 1402"> <ul style="list-style-type: none"> ・Bの条件を満たしている。 ・奈良時代の特徴について、政治や人々の暮らし、文化や仏教の視点を複数取り入れ、的確に表現することができる。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1402 312 1496">B</td> <td data-bbox="312 1402 1398 1496"> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良時代の特徴について、提示された複数の資料を適切に関連づけて、表現することができる。 ・奈良時代と現代のつながりを、理由とともに表現することができる。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1496 312 1547">C</td> <td data-bbox="312 1496 1398 1547">Bに達しない。</td> </tr> </table> <p>・奈良時代について、既習事項を基に考察し、レポートにまとめる。</p> <p>(1)</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・Bの条件を満たしている。 ・奈良時代の特徴について、政治や人々の暮らし、文化や仏教の視点を複数取り入れ、的確に表現することができる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良時代の特徴について、提示された複数の資料を適切に関連づけて、表現することができる。 ・奈良時代と現代のつながりを、理由とともに表現することができる。 	C	Bに達しない。		○			<p>イ① (レポート)</p>
A	<ul style="list-style-type: none"> ・Bの条件を満たしている。 ・奈良時代の特徴について、政治や人々の暮らし、文化や仏教の視点を複数取り入れ、的確に表現することができる。 											
B	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良時代の特徴について、提示された複数の資料を適切に関連づけて、表現することができる。 ・奈良時代と現代のつながりを、理由とともに表現することができる。 											
C	Bに達しない。											
7	<p>帯 重要語句の確認（ペアワーク）</p> <p>○宿題プリントの答え合わせ（前時の復習）</p> <p>○平安京と東アジアの変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・唐から伝わった新しい仏教と奈良時代の仏教徒の違いについて考察し、その違いを適切に表現している。 ・桓武天皇の政治の目的、内容などについて理解している。 <p>(1)</p>		○		○	<p>イ② (発表の様子)</p> <p>エ① (ワークシート)</p>						

8	帯 重要語句の確認（ペアワーク） ○宿題プリントの答え合わせ（前時の復習） ○撰関政治と文化の国風化 ・資料から、藤原氏が摂政や関白を独占し、その地位を利用したことを読み取ることができる。 ・仮名文字の成立や文学作品などから、この時代の文化の特色を理解している。 (1)					ウ① (ワークシート)
後日	単元確認小テスト					エ② (ワークシート)

9 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・奈良時代の貴族と農民の生活を比べ、国家の仕組みの変化を理解する。

(2) 観点別評価規準

資料から貴族と農民の食事や住居を比較し、奈良時代の人々の生活の様子を読み取ることができる。[ウ①]

墾田永年私財法などにより、公地・公民の原則がくずれていった経過を考察している。[イ①]

(3) 準備物

教科書，地図帳，写真，資料，ワークシート

(4) 学習の展開

時間	学習活動	主な発問・指示 (○) 予想される生徒の反応 (☆) 「C」と判断される生徒への手だて (◆) 指導上の留意点 (●)	評価規準 (評価方法)
導入 7分	帯 重要語句の確認 (ペアワーク) ○宿題プリントの答え合わせ		
展開 38分	○奈良時代の貴族と農民の生活を比較する。 ○本時の目標を知る。 奈良時代の貴族と農民の生活を比べ、国家の仕組みの変化を理解する。 ○貴族が豊かな生活を送れた理由と農民の生活が貧しかった理由を考える。	○貴族と農民の生活の違いを、衣食住の写真を提示して読み取らせる。 ☆貴族の食事はたくさんの品目があるが、農民の食事は品目も少なく粗末だ。 ☆貴族は大豪邸に住んでいたが、農民は昔ながらの竪穴住居に住んでいる。 ○貴族がなぜ豊かな生活を送れたのか、農民の生活がなぜ貧しかったのかを資料から考えましょう。 ☆貴族 → 租・調・庸などの税や兵役が免除され、高い給料や多くの土地をもらえたから。	

	<p>○奈良時代の税についての仕組みを確認する。</p> <p>○農民は貧しい生活から抜け出すためにどうすべきか考える。 (個人思考→ペアワーク)</p> <p>○墾田永年私財法がだされた社会背景や内容を理解し、この法律が出されたのはよかったのかグループで話し合わせる。 (個人思考→グループ活動+発表)</p>	<p>☆農民 →税や労役、兵役の負担が重くのしかかっていたから。</p> <p>◆資料『貧窮問答歌』を提示し、農民の生活の実態を理解させる。</p> <p>○奈良時代の税について、戸籍に基づき班田収授法が行われていたことを理解する。</p> <p>☆6歳以上になれば国から口分田がもらえ、口分田に対して税金がかかる。</p> <p>☆死んだら口分田は返す必要がある。</p> <p>○農民の立場にたって考え、ペアワーク後発表する。</p> <p>☆農民 →・土地を捨て、税金の支払いをしない。</p> <p>◆資料『逃亡する人々』を提示し、逃亡農民の実態を理解させる。</p> <p>●ペアワークででた意見は、ワークシートにつけてしていく。</p> <p>○自分が奈良時代に住んでいたとして、墾田永年私財法が出されたことに賛成か反対かどちらですか。又、理由も考えましょう。</p> <p>☆賛成 →・人口増加で口分田が不足していたため、開墾を進める意味では良かった。 ・朝廷が開墾する費用がなかったので仕方がなかった。 ・土地が永久私有できる点では良かった。</p> <p>☆反対 →・公地・公民の仕組みがくずれるから。 ・私有といっても多くは貴族や寺院に限られ、農民には関係ない。</p> <p>●公地・公民の仕組みを再確認しておく。</p> <p>○自分の考えた意見について、ペアで交流し、交流した内容をワークシートに付け加えましょう。</p>	<p>奈良時代の農民の生活について考察し、説明することができる。[ウ①] (発表の様子)</p> <p>奈良時代の国家の仕組みの変化について、既習事項を基に考察し、説明することができる。[イ①] (ワークシート)</p>
<p>まとめ5分</p>	<p>○本時の内容を振り返る。</p>	<p>○墾田永年私財法により、公地・公民の原則がくずれた理由を「貴族・寺院」「私有地」という視点を踏まえて、ワークシートに記入しなさい。</p>	